



# 新春



## 未来へ引き継ぐ 住みよい村をめざして 占冠村長

中村 博

村民の皆様におかれましてはご家族おそろいで輝かしい年をお迎えのことと拝察しております。

昨年も村政執行の理念であります「すべては村びとのために」「村びとは村びとのために」の具現に向けて村政を執行してまいりました。

昨年は、未来へ一歩踏み出す取り組みがありました。

住民や地域の団体、法人によるボランティアや地域貢献活動が活発に行われました。形態や内容は様々ですが、公共施設の草刈りや清掃、除排雪、施設整備などにご協力くださいました。また、占冠村にゆかりのある方からの指定寄付などがあり村づくりに大きく貢献していただきました。

◆ 一人での移動が困難になった方が占冠村に住み続けられる地域であるための施策として、一昨年からむらびと交通

を試行しております。

利用者は、富良野や旭川への通院、医療施設への入退院、役場などでの用事、高齢による運転の不安など様々です。

今年から本格的な運行になります。若干の利用料金はかかりますが、ぜひご利用ください。

◆ 近年多発しているゲリラ豪雨や台風による大雨は、本村にとっても水害に直結するものとなります。その対策として防災の日当たる9月1日に水害避難訓練を行いました。

対象は、宮下行政区、本通行政区、千歳行政区で、避難所となる占冠中学校へ巡回バス、自家用車、徒歩で移動しました。初の試みではありましたが、参加者のアンケートから災害避難にあたっての課題が見え、成果があった訓練でした。

昨年から防災対策として、灯油ストーブや毛布などの必

需品を購入し備えを進めております。今年から年次的に、徒歩での避難路、備品庫、非常食などの整備を進めてまいります。

◆ これまで視聴不可能であった民間放送1局の本電波が12月に発信されました。これでNHK2局、民間放送5局全てが視聴可能となりました。ラジオ放送についてもインターネットで聴くことができるようになったことから、懸案であった難視聴が解消され、また、高速通信網も整備されていることから都市との格差は、ほとんどなくなりました。

◆ 占冠村に見合った高齢者の福祉施設について、議会と協議を重ねてまいりました結果、小規模多機能型居宅介護施設建設の提案を受け、現在所要の事務を進めている段階です。

施設運営に関する課題も含め、詳細が整理でき次第、住

民説明会や高齢者を対象に説明会を開催する予定です。

これらの施策は、住民の皆様  
の安全・安心や豊かな生活をめざすこれからの村づくりの基礎となるものです。

◆ エゾシカ対策については、関係機関各位のご支援を得ながら進めており、エゾシカを森林資源と捉え、村の活性化につなげてまいります。

昨年、野生獣処理加工施設「ジビエ工房「森の恵み」」を建設し、シカ肉の衛生的な処理と管理ができるようになりました。林業振興室の地域おこし協力隊が中心になり生息調査、効果的な狩猟方法、環境ツアーの受け入れ、食育や商品開発を進めています。今年はデータの蓄積と新たな狩猟法について取り組んでまいります。

◆ 村民の憩いの場として整備を進めておりました湯の沢温泉が9月29日に営業を再開しました。

新たに指定管理者となりました企業には、「森林に囲まれた秘湯」をいかし、安らぎと自然を満喫できる場として湯の沢温泉の活性を期待しているとあります。

浴室やロビーなどを一新しましたので、皆様にぜひご利用いただきたいと思えます。また、村民優待券を発行していますので、ご利用ください。

◆ これからも村民の皆様には軸足を置いた施策を進めてまいりますので一層のご指導とご協力をお願いいたします。

先人が残してくださった素晴らしい環境を守り育て、私たちが占冠村に住んでいて良かったと実感できる村づくりを進め、後世に引き継いでまいる所存です。

皆様におかれましては、本年が希望に満ち溢れた輝かしい年でありますようお祈り申し上げます。



## 年頭にあたって

占冠村議会議長

相川繁治

◆ 新年あけましておめでとうございます。  
平成25年の新春を村民の皆様と共に迎えられますことを心からお慶び申し上げます。  
日頃から議会活動、議会運営に対し、暖かいご支援、ご協力を賜り、衷心より感謝を申し上げます。

◆ 平成24年度の住民と議会の懇談会が9月27日、28日の2日間、2組に分け2箇所ずつ、トマム、占冠、中央、双珠別でそれぞれ行いました。今まで出席者のいなかった占冠地区、双珠別地区の方々もお見えになり、活発な意見交換ができ、これからの議会活動に大いに役立てて行きたいと考えています。

◆ なお、開催時期、周知方法などさらに改善を加え、さらに多くの皆様が参加しやすい懇談会になるよう努めてまいります。

◆ 占冠村において住民の最大の関心事の高齢者福祉については、村と議会での検討によりショートステイのできる小

規模多機能型居宅介護(宿泊・通い・訪問)が受けられるなど、その方向性が話し合われています。  
◆ 今後住民に説明、ご意見を伺った後、決めていく手順になるものと思えます。

◆ 地域高規格道路「旭川十勝道路(富良野から占冠間)」につきましては、平成6年に計画路線の指定を受けたものの富良野市の一部を除き、その後の進展がみられません。国道237号の最大の難所は、なんと申ししましても金山峠であります。

◆ 一日も早い対応を各関係機関に働きかけをする必要があります。

◆ 新年に向かい、皆様のなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。とともに、希望に満ちた平成25年でありますよう心から祈りし新年のごあいさついたします。

◆ 9月28日、村の懸案であつ